

魚がいる場所に
釣り糸をたらせ!

地元にいながら都会に負けない、

地方発信型 ビジネス モデルの 作り方

上野真歳

はじめに

「年々、会社の業績が落ちてきているけど、どうして良いのかわからない」

「いいものを作っているんだけど、輸入品に押されて売れてくれない」

「目に見えてお客さんが減ってきているので、廃業を考えている」

「後を継がせるほどの商売ではないので、息子には別の会社へ就職してくれと言っている」

多くの地方の中小零細企業からは、こんな声が聞こえてきます。

しかも、それは切羽詰まった心の底からの声で、切実な思いだったりします。田舎と呼ばれる地方で商いをしている多くの人には、明るい未来が見えているとは言えない状態なのです。

しかし一方では、地方に拠点を置きながら、しっかりと儲けている中小企業や、利益が出過ぎで笑いが止まらなくなっている個人商店があるのも現実なのです。

あなたはそんなビジネスモデルを知りたくはないでしょうか？

〃地方発信型ビジネスモデル〃・・地方に拠点を置きながら、さまざまなツールやメディアを使って情報を全国に発信することによりマーケットを広げるビジネスモデルのこと。

あなたは、そんな〃地方発信型ビジネスモデル〃の存在をご存じでしょうか？

何か特別な技術が必要な商品を作っていたり、誰もマネできない特許がある商品売っていたりするわけではありません。どこにでもあるような商品を、誰もが使えそうなツール（道具）を使いこなし、ちよつとした工夫を加えていくことで、地方の商いとしては想像もできないような規模まで成長させている会社が続々と出てきています。

「そんなウマイ話なんかあるはずないよ」

そう思うかもしれませんが、現に地方発信型のビジネスモデルで、衰退しつつある地方の中小零細企業がわずか数ヶ月で業績回復。さらにその手法を有機的にアレンジさせ、短期間で日本一と呼ばれるまでになっているのです。あまり感心はしませんが、なかには税務調査に入られるまで「いくら儲かっていたのかすらわからなかった」とおっしゃる個人会社の店主さんもいるぐらいです。ホント、驚きですよ。地方にいながらそんなビジネスモデルを作れるって。

独特の文化を持つ地方には、あまり知られていない農産物、水産物などの特産品や、特色のある加工品、すばらしい技術が眠っているのです。また地方だからこそ、都会では考えられないようなサービスを提供することができるといえることが多くあります。

それらを、適切なツール（道具）やメディアを組み合わせて使うことにより一石二鳥、いや一石三鳥、一石四鳥、一石五鳥と露出の効果を高めることが可能なのです。

そういう私へと申しますと、自らのビジネスはもろろんのこと、多くのクライアントを成功へと導いてきました。本書に登場する「アルトロシエスタ」ではたった一年の間にリアル店舗で4倍、ネットで10倍の売上を叩き出すという結果を残すこともできました。

実際には何の失敗もなくここまで来たわけではありません。最初は何の知識もノウハウもなかったところからスタートした自分ですから、失敗は人一倍多かったと感じています。これから皆さんが、同じような過ちや失敗を犯さないように、大きな苦労なくスムーズに事業を拡大して欲しいとの願いから書いたのが本書なのです。（ハンデキャップのある地方や田舎でも通用するということは、都市部のビジネスでも十分使えるのではないかと思ってみたりもします）

継続的にビジネスを発展させたいと願う経営者や、本気でマーケティングを仕掛けようと考えている人、時代の変化に対応していきたい店主や起業家、そして社内で大きな成果を出したいと感じている人たちに読んでもらいたい一冊です。

また本書は、これからの商いをしていく上で、必要なノウハウや重要なポイントをしつかりと押さえたものになっています。前半にはこれからのビジネスに必要な概念や考え方、後半には地方にいながらビジネスを成功させている事例や、私が体験してきた様々な事柄、経験からの気づきや学びを織り込んでいますので、ぜひ最後までお付き合いください。

この本を読み終えたあなたは、これからの激動の時代におけるビジネスの最も重要な部分を感じ、情報発信の重要性をハッキリと認識した上で、その基本を手にし、儲けのポイントをイメージすることができているでしょう。

さあそれでは、独自の地方発信型ビジネスモデルを構築し、強力な都会のビジネスに肩を並べようではありませんか？

あなたのビジネスの成功を加速させ、あなたとあなたの周りにいる人々が幸せを感じられる未来へ、ご案内しましょう。